

広報誌

つくし

発行日 2022年4月30日発行

第46号

令和4年度を迎えて

医療法人つくし会 理事長
南国病院 院長 中澤 宏之



令和4年度もコロナ第6波の中で迎えることとなりましたが、職員の皆様、関係機関の皆様には思いを新たに新年度を迎えられることと思います。新型コロナウイルスはオミクロン株へと変異、今後も新たな変異が予測される中、感染力や重症化率の変化に合わせた医療体制を整え、社会経済活動も段階的に活性化していくステージに入ったと言えます。今年度は院内行事についても段階的に対面での開催が実現できることを期待したいものです。

令和3年5月以降、新たに合計8名の新規採用者をお迎えすることができました。対象の皆さんには年度初めに新人集合研修を受けて頂きましたが、まず私から当法人の理念、ビジョンをお伝えしました。「つくし会」という名前に込められた前理事長から受け継いだ思いを理解され、皆さんが当院で共いきいきと活躍することをお祈りしています。また、4月20日には開院53周年を記念した院内発表会が開催できました。今年は5部署からの発表があり、それぞれが興味深い、多くの事を気付かされる内容でした。日頃交流の少ない部署や日常業務とは違った内容の発表を聴くことにより相互理解が進んだのではないかと思います。

さて、5月27日、28日には3回目の病院機能評価受審を迎えます。多忙な日常業務の傍ら、各部署で準備を進めて下さっていることに感謝いたします。地域の専門病院として、我々が地域貢献するためにはどうあるべきか、チーム力、組織力を上げるためにどうすればいいのかが問われますが、定期的に第三者評価を受けることの意義をご理解頂ければ幸いです。5年前の更新受審の時と比べて確実に改善されてはいますが、組織全体がパフォーマンスを向上させるきっかけ、指標になればと思います。

令和4年度は、特に在宅医療部門に力を注ぎたいと思っています。電子カルテを導入した訪問看護、就労支援、社会復帰支援に取り組む精神科デイ・ケア、介護保険事業である通所リハビリについては、外来・入院部門との連携を強化し活性化を図りたいと考えています。最後になりましたが、令和4年度が皆様にとって充実した一年となることをお祈りいたします。

目次

第24回高知県精神科総合研究会	2
第9回開院記念院内発表会	2
第11回看護部チーム会活動の振り返り	3
外来患者満足度調査の結果報告	3
診療のご案内	4

日本国内において、新型コロナウイルス感染症が拡大しており、高知県内においても感染例が多数報告されています。当院においても、入院患者様の安全を確保するため、面会を禁止させていただいております。患者様ご家族様におかれましては、大変ご迷惑をおかけいたしますが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ご協力のほど、宜しくお願いたします。

第24回 高知県精神科総合研究会

2022.3.11(金)

高知会館

「当病院における転倒転落対策について」～多職種チームで取り組む転倒予防～



5病棟看護師 村上 真穂

令和4年3月11日に開催された「第24回高知県精神科総合研究会」に参加し、当院における転倒転落対策についての発表をさせていただきました。

看護研究は初めての経験でパソコン操作も不慣れなため、先輩の指導の下、なんとか進めていくことができました。今年、コロナ禍のためリモートでの開催となりました。緊張と不安の中、会場に向かいましたが、運営スタッフの皆さんや座長さんに優しく迎えて頂き、少し緊張が和らぎました。今回は初のリモート研究発表会で、インカムをつけての発表になりました。聞いている人の顔が見えず反応がわからないこと、自分の声が届いているのか不安でした

が、無事発表を終える事ができました。ほっと安堵したのも束の間、続けて質疑応答に移り、自分の中で準備していなかった質問をいただきました。緊張して答えることができず、共同演者の大崎主任に助けて頂くという状況でしたが、座長さんから、堂々としていて良かった！とお褒めの言葉を頂き嬉しく思いました。

今回の演題発表は、新型コロナウイルス感染症や感染対策に関するものが多く、また実際にクラスターが発生した病院の発表もあり、新たな情報を得る等、学びの多い貴重な経験となりました。今回、発表の機会を与えて頂いたことに感謝申し上げます。コロナ禍収束後には、学会発表への挑戦できるよう、今後も精進していきます。

第9回 開院記念院内発表会

2022.4.20(水)

在宅医療支援センター・センターホール

副院長

学術研修委員会委員長 玉元 徹

機能評価が間近に迫った時期にもかかわらず、5演題もの発表ができたことは非常に素晴らしいこととお慶び申し上げます。これも院長先生の人徳によるものが大きいと考えております。



訪問看護ステーションおおそねのハオ・エマヌエル・武田さんは、日頃の具体的な仕事のスケジュールとそれに対する国の対価を示していただき非常に勉強になりました。

精神科デイケアの西洋平さんは、過去から現在までのデイケアの変遷を写真を使ってわかりやすくユーモアを交えて報告していただいて非常に楽しい時間でした。

5病棟の村上真穂さんは、精神科の転倒予防のための取り組みについて重要な研究発表をなさって、あの忙しい病棟でそういう研究がなされていることに感動しました。症例数が今後増えると、大きな学会での発表ができると思いました。

栄養課の安岡友美さんは、メタボリックシンドロームに着目して、いかに食事制限や運動が必要かを説いてくださいました。成功体験や失敗体験を織り交ぜて、具体的で非常にわかりやすい発表だったと感じましたし、聴衆にとってもそれぞれの健康に役に立つ内容だったと思いました。

中澤院長は、高知県の地域医療構想と地域包括ケアシステムについて詳しくお話していただきました。将来の当院の精神科の行く末にも関心が高まる内容でしたので、非常にためになりました。

みなさん、楽しい会を本当にありがとうございました。

第11回 看護部チーム会活動の振り返り

2022.3.17(木)

在宅医療支援センター・センターホール



教育師長 医療安全管理者 大黒 千明

年度末の3月17日(木)に11回目となる「看護部チーム会活動の振り返り」が開催されました。2021年度も「新型コロナウイルス感染症」が未だ終息しない中、6チームがそれぞれに1年間の課題や目標を設定し、感染対策に留意し試行錯誤しながら

取り組んで来ました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する課題や目標が多く、感染状況をみながら「PPE着脱演習・手洗い実技」また「看護技術演習」など実践に向けた、実技や訓練を中心とした活動が多くありました。研修の準備や開催のアナウンス、演習時の司会進行、講師などを努め、活動の幅も広がってきました。また、発表原稿の作成や発表者の選出からも各チームの特徴やチームワークの良さが感じられました。

2022年度は「緊急時の対応」について医療安全チームと教育チームが共同した訓練を計画しています。新型コロナウイルス感染症の感染が続いていますが感染状況を考慮しながらの活動が継続されると思います。患者ファーストを第1に安全・安楽な医療・看護が提供出来るよう、他職種の協力を得ながらチームワークの良い活動を実施していきたいと思ひます。

外来患者満足度調査の結果報告

2022.2.21(月)～3.5(土)

事務部 事務主任 桑原 三和

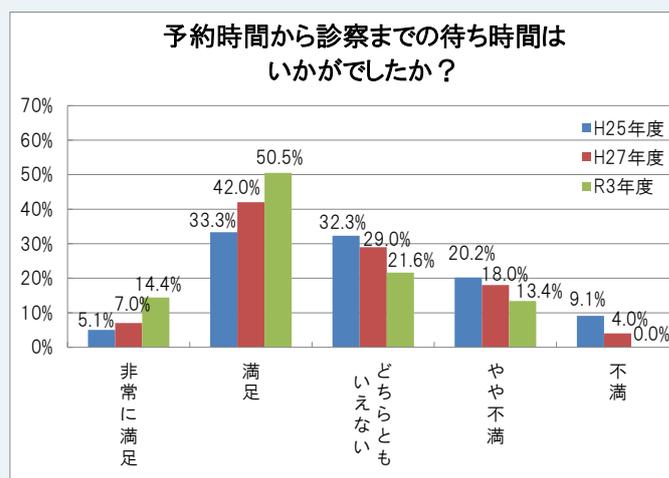
令和4年2月21日～3月5日にかけて、100名の外来患者様を対象に満足度調査を実施しました。回収率も100%であり、ご協力いただいた患者様とご家族の皆様にお礼を申し上げます。

最初に施設・設備面の清掃に関しては、満足・非常に満足が98%と非常に高い評価をいただいております。この項目は、平成25年度と平成27年度に調査した時も高く評価していただいているので、継続して取り組んでいけるよう努力いたします。

今後の課題は、診察混雑時の駐車場の確保と、障害者専用駐車場が少ないということと、受付・会計と診察の待ち時間が長いということです。

待ち時間については、前回の調査と比較したら若干改善されてはいるものの、未だ待ち時間が長い日もあり、根本

的な解決には至っておらず、患者様に満足いただける対策を考えていかなければならないと日々感じております。皆様からの貴重な意見をもとに、より一層改善に努め、満足していただけるよう努力していきたいと思ひますので、お気づきの点がございましたら気軽にお声かけ頂きますようお願いいたします。



診療のご案内

ホームページもご覧ください
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

診療科目	◆脳神経内科	◆精神科	休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
	リハビリテーション科		予約診療	全科予約診療となっております
	◆内科	◆消化器内科	救急指定	なし
診療時間	◆放射線科		健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
	月～金 午前 8:30 ~ 12:30		面会時間	現在は原則、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ご遠慮いただいております。
	午後 1:30 ~ 5:00			
土 午前 8:30 ~ 12:30				

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土	
午前	脳神経内科		中澤	吉村	中澤	中澤	
	精神科	藤田	玉元 10:00~11:30	石田	玉元	上村※3 (もの忘れ外来)	中澤
	消化器内科 内科	速瀬	速瀬	麻植(啓)	速瀬	速瀬 麻植(啓)	速瀬 ※1 麻植(啓)※2
午後	脳神経内科			吉村			
	精神科	玉元 赤松	玉元 石田	玉元 13:30~14:30	高木	石田	
	消化器内科 内科	速瀬	麻植(淳)	麻植(啓) 麻植(淳) (禁煙外来あり)	麻植(淳)	速瀬	

備考
 ※1 速瀬医師の土曜日の診察は第1、第3、第5土曜日です。
 ※2 麻植(啓)医師の土曜日の診察は第2、第4土曜日です。
 ※3 上村医師(もの忘れ外来)の診察は第2、第4金曜日です。

南国病院の 理念	1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。 2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。 3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。	■病床数 162床 2病棟 特殊疾患病棟(I) 46床 3病棟 特殊疾患病棟(I) 56床 5病棟 精神一般病棟(15対1) 60床
	基本方針 1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。 2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。 3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。 4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。 5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々への奉仕者としての自覚を持ちます。	■認定・指定 日本神経学会准教育施設 日本精神神経学会精神科研修施設 日本老年精神医学会認定施設 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設 ■診療実績 2021年度 外来患者数 27,131 名 (内新患者数) 795 名 1日平均入院患者数 155 名 精神科デイケア利用者総数 5,363 名 通所リハビリテーション利用者総数 4,222 名 訪問看護ステーションおおそね訪問者総数 6,637 名

発行元/医療法人つくし会 南国病院
 発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
 高知県南国市大桶甲1479番地3
 電話 (088)864-3137
 F A X (088)863-3070 (代表)
 (088)802-8618 (地域連携・医療相談室)
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

